

<目次>

●4月にオープンした「コスギアイハグ」(総合自治会館跡地)はどんな所?

■第28回公害・環境・まちづくフェスタ 開催

▲お知らせコーナー

☆5/28(日)ゆめごこちライブ「李政美ライブ」

☆6/3(土)良い映画を観る会「われ弱ければ」「母

☆6/4(日)平和をきづく市民のつどい

☆6/8(木)本当のことしか言わないツアー 2023 —金平茂紀縦横無尽に語る—

☆6/25(日)ゆめシネマ「原発を止めた裁判長—そして原発をとめる農家たち—」

★編集後記

●4月にオープンした「コスギアイハグ」(総合自治会館跡地)はどんな所?

川崎民主市政をつくる中原区の会は、5月17日、旧総合自治会館跡地にできた「コスギアイハグ」の調査を行いました。

<コスギアイハグのオープンまで>

市民に活用されてきた旧総合自治会館は、市民の頭越しに「移転」が決定し、現在は小杉サードアベニュービルの4階に移転しました。

以前は無料だった駐車場も駐輪場も有料となり、不便になったなどの声もあがって来ます。

そして、フロアを市が借り上げるために、高額の税金を払っています。

一方、会館跡地は、近隣町会や住民が「緑豊かな広場と老人いこいの家の建設を求める」陳情や請願を出して要望をしてきました。

そして、2020年1月には、趣旨採択になりました。

しかし、川崎市は、東レ建設等と基本協定を結び、2023年4月「コスギアイハグ～誰もが健康に、いのちをはぐくむ武蔵小杉のふるさとに～」が開所しました。

施設の概要は、建物が3つ。

・シェアリングハウス

(高床式砂栽培ベッドを使った農業体験、一人1回1000円～1500円)

・アウトドアダイニング棟(1階が飲食施設、2階がテラスと地域交流スペース)

・ウェルネスリビング棟(クリニック、産前産後ケア施設)

・真ん中に、芝生広場(延べ900平方メートル)です。

<市民誰もが無料で利用できるスペースはわずか>

川崎市は、市の公有地を、民間企業に20年間、年276万円で貸し出しました。それならば、当然、市民だれもが使いやすい施設であるはず！

しかし、そんなスペースは、中央広場と地域交流スペースだけ。あとは、お金を使わなければ楽しむことはできません。

産前産後ケア施設にいたっては、1泊5万9千円で普通は7泊コースというもの。

保育施設は事業者も未決定。

ダイニング棟2階は地域交流スペース。

毎週水曜日のみ市民に開放。

2階はキッチンスペース（35㎡）とテラス（90㎡）。

住民の要望を受けて、川崎市は、週2回、月・木の9時半から12時半をシニア向け無料開放デーとしました。

川崎市は、この借上げ料として年間約120万円を払っています。

キッチンスペースは、大きなテーブルが3つ、椅子が6つずつ。

小グループでの会合？ぐらいしか使い道はない。

テラスには、テーブルは10個で、背もたれのない木のベンチが2つずつ。

<危険なシニアスペースの長椅子>

すでに利用された方は、1時間以上座っているとお尻が痛くなったそうです。

この日、長椅子に座ろうとして、後ろにひっくり返った方が出ました。

大げがにはならなかったものの、これがシニアスペースかと呆れました。

ゆったりくつろげる安全な椅子に即刻取りかえるべきです。

市の公有地活用方針に大きな疑問が残った調査でした。

川崎民主市政をつくる中原区の会 市古ひろかず

■第28回公害・環境・まちづくフェスタ 開催

4つのテーマで共同を広げる

5月21日（日）に、第28回「公害・環境・まちづくりフェスタ」が開催されました。市内で活動する多彩な住民運動や団体が、60以上参加する大イベント、今年の主要テーマは、以下の4つでした。

- ・軍拡競争より9条生かし、平和外交を
- ・戦争は最大の環境破壊であり、人間破壊だ

- ・原発は危険、温暖化対策のも無力
- ・ぜんそく患者の医療費助成制度廃止反対

会場の南武線溝の口駅前ペDESTリアンデッキには、各団体のコーナーがいっぱいに広がり、活気あふれる場となりました。

11 時から、中央の舞台がオープン。

7 つの団体からの訴えがありました。このイベントの中心的な役割を担ってきた「公害病患者と家族の会」の会長、丹さんのあいさつを以下、紹介します。

丹操さんのお話

私は、川崎公害病患者と家族の会の丹操です。

50 年以上前、川崎市南部は、コンビナートの公害がひどく、煙が目に見え、異様な匂いがして、公害の街と呼ばれていました。公害に冒された人が、救急車で病院に毎夜のように運ばれ、死亡するたびに、新聞に出ました。

当時は治療薬も効果の少ないもので、患者は苦しんでいました。

私たちは、全国の公害病患者とともに、公害運動裁判により、企業の操業を断罪しました。

しかし、それと同時に、自動車排気ガスによる汚染が全市に激しくなり、患者は増え続けました。

国は、NO₂ の環境基準、0.02ppm 以下を、0.06ppm 以下に緩和しました。

市民の健康は最悪のレベルでした。

多くの公害患者と団体が、国に環境基準を厳しくし、公害をなくすことを求めて運動を続けました。

川崎市には、全国に誇れる「成人ぜん息患者医療費助成制度」と「小児ぜん息患者医療費支給条例」があります。16 年前、市民の皆様のたくさんの署名の力が市議会を動かし、全会一致で採決され、決定しました。

この制度が、ぜん息患者に命綱となり、死者を減らすことができたのです。

しかし、川崎市福田市長は、来年 3 月をもってこれらの制度を廃止するとし、今度の 6 月議会に提案される見込みです。

成人ぜん息患者のうちで、現在認定されている患者は、9 千人を超え、少しずつ増え続けています。

そんな中で、公害は終わったとして、この条例を取り消そうとする川崎市は市民の生命を見捨てるものです。

この条例を維持させるために、署名活動を行っております。こんな行政に対して、皆様方の正しいご判断をお願いいたします。

また、健康に不安のある方はお申し出ください。

私たちの会（電話 044-211-0391）や、この会場でも、どんなご相談にも応じております。

▲ お知らせコーナー

☆ゆめごこちライブ「李政美ライブ」

5/28(日)14時

かわさきゆめホール

一般：2500円、障がい者・学生以下：1000円

主催：ゆめホールライブ実行委員会

お問合せ 044-433-3003

hall@kawasakiyume.com

<https://onl.bz/r1vjvmc>

☆良い映画を観る会

6/3(土)

①劇映画「母—小林多喜二の母の物語—」

10時半

②「われ弱ければ—矢嶋楯子伝—」

14時

川崎市国際交流センター

前売り券一般：各1,200円

当日券一般：各1500円チラシ持参で当日券各1,300円

前売り券:有隣堂アトレ川崎店:044-200-6831

良い映画を観る会:070-8933-5703

☆平和をきづく市民のつどい

6/4(日)10時開会

川崎市平和館

参加費無料

記念公演：青井未帆

「戦争ではなく、平和の準備を」

主催「平和をきづく市民のつどい」実行委員会

090-1458-3102(柴田)

<https://onl.bz/HWJuLpe>

☆本当のことしか言わないツアー 2023

—金平茂紀縦横無尽に語る—

6/8(木)18:30

川崎市産業振興会館ホール

資料代500円

呼びかけ・主催：なんてん～神奈川10区の会～

申込み
nanten2017@gmail.com
090-1708-6635(五十嵐)
<https://onl.bz/EeZ6iht>

☆ゆめホールシネマ倶楽部

「原発を止めた裁判長—そして原発をとめる農家たち—」
6/25(日)① 9時 ② 12時 ③ 15時 ④ 18時
①②アフタートーク：小山田大和さん
③④アフタートーク：小原浩靖監督
一般：1000円
障がい者：500円
学生以下：200円
当日：各500円増
<要予約>
予約・お問合せ
044-433-3003 ゆめホール
cinema@kawasakiyume.com
<https://onl.bz/12j5Ht3>

★ 編集後記

憲法第九条を改めて噛みしめたい。

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

ウクライナ・ゼレンスキー大統領を迎えて華々しく開催された G7 サミットは、こともあろうに、ウクライナへの武器供与、戦争の継続を確認しあう場となりました。日本の取るべき立場は、双方が武器を捨て、戦争をやめるにはどうすればいいかを提言すべきではなかったかと大いに疑問が残ります。

岸田総理が自画自賛する「核軍縮に関する G7 首脳広島ビジョン」に対し、原水協は「『核抑止力』論を公然と宣言するサミットとなった」と批判しました。

原爆資料館を視察し、平和公園の慰霊碑を前にして、首脳たちは何を祈ったのでしょうか。

戦争継続と核抑止力論、アメリカ従属の立場を恥ずかしげもなく貫いた岸田首相と無批判に垂れ流すマスメディアに吐き気を催したのは私だけ？ (Y)